

序



平成3年度を振り返りますと、国際社会においては、近年まれに見る激しい変革がもたらされてきました。我が国の社会もまた大きく変化し、これまでだれもが経験したことのない状況にあります。

県教育委員会としましては、このような状況を踏まえ、新たな長期教育計画の策定に着手する等、解決すべき様々な課題に積極的に取り組んで参りました。

長期教育計画は、未来を担う心豊かなたくましい人間の育成を目指し、長期的な展望の下で教育行財政を総合的、重点的、かつ効果的に推進するために策定するものです。

また、県民の生涯にわたる学習を可能にするため、生涯学習審議会の設置をはじめ、生涯学習情報提供システム整備事業、生涯学習県民講座の充実等を推進して参りました。

さらに、本県教育・文化の充実を図るために、学校教育審議会の設置をはじめ、いわき養護学校高等部の開設、安積第二高等学校単位制課程の開設、学力向上対策事業の拡充、教職員研修の充実、県立学校の大規模改修、コンピュータの整備、新しい時代に対応し得る人材の育成を図るための中・高校生を対象とした朝河貫一賞・野口英世賞の新設、また、芸術文化指導者派遣事業や埋蔵文化財周知事業等の諸施策・事業を積極的に推進して参りました。

一方、開催が3年後に迫りました「ふくしま国体」に向けての競技力向上を図るため、強化合宿事業及び競技力調査派遣事業等の諸施策・事業を積極的に推進し、開催に向け万全を期してきたところです。

平成3年度実績「教育年報」の発刊にあたり、平成3年度に推進して参りました施策事業の一端について申し述べましたが、本年報が本県教育の充実振興を図る上で真に有用なものとして活用されるよう願ってやみません。

平成4年9月

福島県教育委員会

教育長 渡辺忠男